

平成26年度【前期】学校評価

学校名(西京高等学校附属中学校)

1 平成26年度 重点評価項目

(1) 中高一貫教育による学力向上の取り組み、(2) 社会人を育成するキャリア教育の推進、(3) 効果的・効率的な学校運営

2 1回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
アンケート実施結果、その他指標の結果について整理						評価日	平成26年9月25日	評価日	平成26年10月17日
						評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学 校評議員による改善 に向けた支援策
1	確かな学力	学習意欲を高める授業の工夫 ・サテライト学習(補充学習)の充実 ・家庭学習の習慣化と充実	・日常的な授業公開 ・授業研鑽週間 ・定期的なサテライト学習 ・サマーサテライトの実施 ・学年単位での計画的な家庭学習 ・確認テストの実施	・保護者アンケート ・生徒による学習アンケート調査 ・教職員ヒアリング ・保護者アンケート ・ベネッセ学習実態調査アンケート	⇒	・ベネッセ学力推移調査では、各学年とも経年変化において順調に推移。ただし、全学年とも平日の家庭学習時間において、教科による差が見受けられるとともに、予習に要する時間が少ない。 ・授業研鑽週間での教員による参観数に差が見られる。	・家庭学習の習慣化(特に平日の予・復習)を図るため、家庭学習の課題設定(質・量ともに)において教師間での調整をおこなう。 ・授業研鑽週間での参観数について一定の基準を設けるとともに、若年教員の研究授業を積極的におこなう。	⇒	・ベネッセ学力推移調査から、各学年とも順調に成果をあげていることが分かり喜ばしいことだ。家庭学習において、予習に要する時間が少ないのは、課題の出し方に改善すべき点があるのではないかと。教科ごとではなく、全校的な共通理解が必要だと考える。
2	豊かな心	人権意識の向上 進路展望の拡大 豊かな心の育成	・系統的な人権教育全体計画の実施 ・人権教育学習の充実 ・企業や大学訪問を含めた計画的なキャリア教育 ・EP-A学習の充実 ・系統的な福祉体験学習 ・生徒会を中心とした取り組み	・教職員研修振り返り ・保護者アンケート ・中高一貫推進会議 ・全国学力学習状況調査の分析 ・生徒の振り返り ・全国学力学習状況調査の分析	⇒	・全校道徳や学年道徳の実施など、系統的内容での取り組みをおこなっている。 ・係から計画の提案や教材の提供がおこなわれている反面、個々の教員が教材研究をおこなう機会が少なく工夫が必要。 ・規範意識を涵養し、自尊感情を高める集団づくりが課題。	・各種アンケートに関する研修を計画し、分析結果を活かした生徒指導を推進、教職員の理解を深める。 ・生徒達の学びがキャリア発達を促すプログラムは、生徒達における気づきに繋がるように、道徳・特活での行動実践をともなったプログラムを立案する。	⇒	・全校道徳や学年道徳など、これまでにない新たな取り組みを実施していることは大変評価できる。 ・自尊感情を高める集団づくりを進める上では、従来担任の力量がまず問われるが、チームとして学年全体がサポートしていく体制を大切にするべきである。
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立 自己管理能力の育成	・健康観察カードを活用した基本的生活習慣の確立 ・健康観察カードを活用した教育相談	・健康観察カード ・養護教諭、スクールカウンセラーとの連携 ・全国学力学習状況調査の分析 ・ベネッセ学習実態調査アンケート	⇒	・生徒指導委員会等でスクールカウンセラー等と連携をさらに進めるとともに、不調生徒の支援が課題。 ・継続的に実施している朝の「健康観察カード」を生徒の心身の健康状態の把握に活用。	・不調生徒への対応について、担任を中心に家庭と十分に連携し学年や養護教諭、児童相談所等が協力して指導体制を充実させていく。 ・健康観察カードの内容・点検方法等の見直し。	⇒	・「健康観察カード」は大変よい生徒理解の指標だ。今後、改善して継続利用して欲しい。また、スクールカウンセラー等との連携をさらに充実させ、不調生徒の支援を推進して欲しい。
4	独自の取組	中高一貫教育の推進 学校説明会・オープンキャンパス 情報発信の充実	・中高一貫教育推進会議の実施 ・中高合同研究会活動 ・学校説明会 ・オープンキャンパス ・学校HPを用いた情報発信の充実 ・各種案内の配布	・中高合同研修会 ・定期的な中高合同教科会 ・教職員ヒアリング ・保護者アンケート ・保護者アンケート ・学校HPのアクセス数	⇒	・学校説明会等で、本校独自の取り組み、教育目標についての理解を促すことが課題。 ・中高一貫教育推進委員会を中核として、「育てたい生徒像」を共有できた。 ・学校HPでは、本校独自の教育活動を伝えることに腐心し、一定の効果を収めている。	・保護者による学校評価アンケート(授業評価)などの分析結果を各分掌で分析、課題を共有する。 ・学年便りや学級通信を充実させ、保護者に対しての情報提供に努めるとともに、学校へ来ていただく機会を増やす。	⇒	・学校HPがほぼ毎日更新されていることは高く評価できる。本校独自の教育活動を伝えることで、保護者や入学希望者に対して、啓発できている。 ・学校説明会等においても、本校独自の取り組み、教育目標についての理解をさらに促すようにして欲しい。